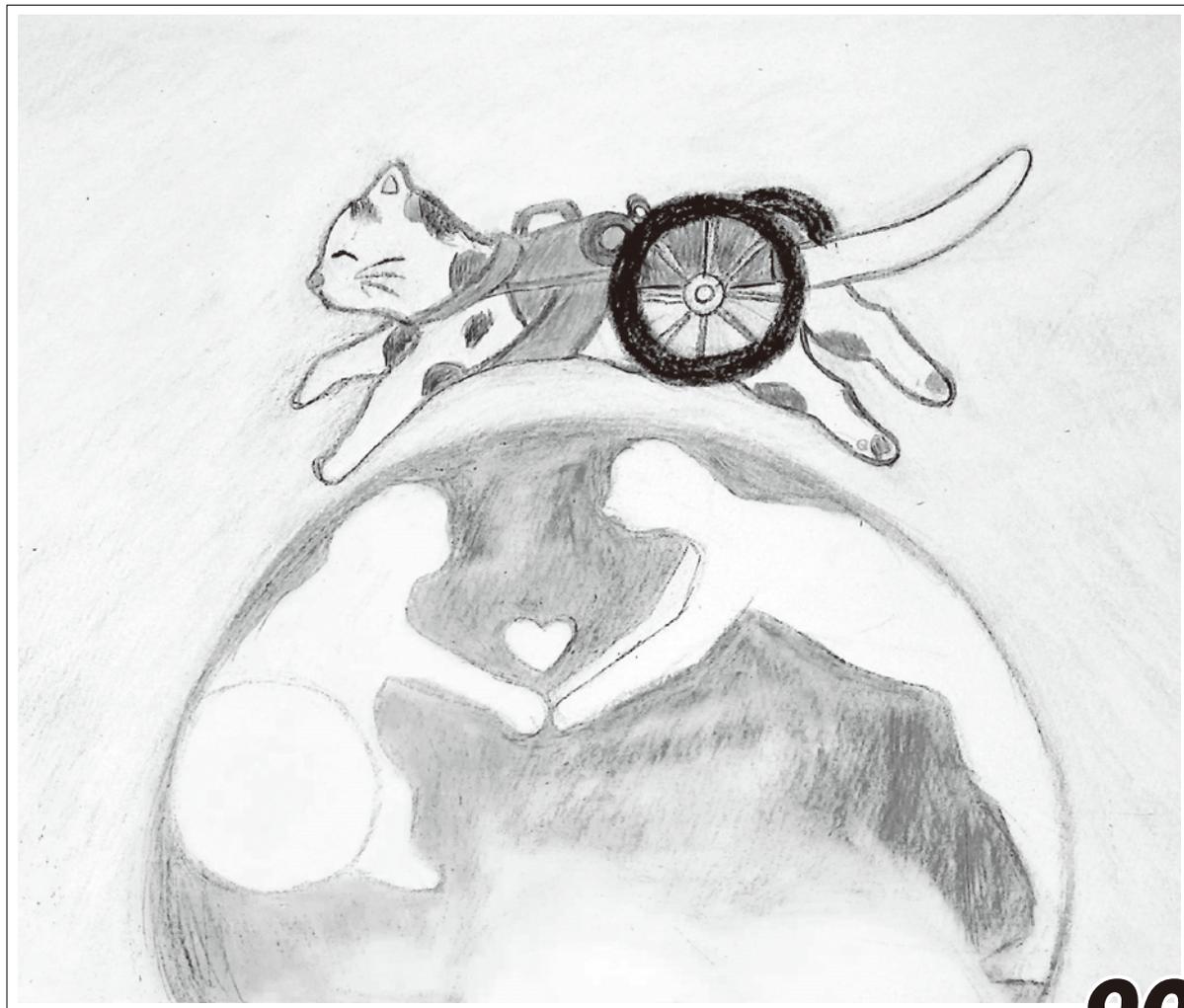


# とべとべ



No.90

題 字: 村井龍全さん(水墨画家)

イラスト: 居上優香さん(看護師)

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

HSK通巻番号621号(毎月10日発行)

発行 2023年(令和5年)12月10日

編集人 札幌市中央区南8条西2丁目5-74-402

NPO法人「飛んでけ!車いす」の会

照井レナ 発行番号第90号

電話 011-215-8824 (FAX 共用)

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定 価 100円(会員は会費に含む)

## 目次

- P2 Special Thanks! (寄付御礼)
- P3 届けた車いす国別一覧
- P4-5 今年も開催しました!ハロウィーン・パーティー
- P6-7 車いす 届けました! / 届きました!
- P8-10 ウクライナ情報
- P11 トピックス(車いす体験会実施ほか)
- P12 「飛んでけ」サポーターのご案内  
掲示板(イベント・お知らせ)

車いすを運んでいただきありがとうございます

14件

車いすのご提供ありがとうございます

26件

ご寄付ありがとうございます

● 寄付金

26件

● リングプル、アルミ缶ほか

25件

● 切手・書き損じ葉書

2件

● その他

5件

(順不同、2023年11月15日現在)

# Wheelchairs delivered to 83 Countries

◆アフリカ・欧州地区		◆アジア・太平洋地区		⑳ ベトナム	620
① ベラルーシ	11	① アフガニスタン	20	⑳ シリア	4
② ベナン	17	② バングラデシュ	46	㉑ フィジー	9
③ ブルキナファソ	24	③ ブータン	1	⑳ ミクロネシア	12
④ エジプト	2	④ カンボジア	232	㉒ バヌアツ	6
⑤ ガーナ	17	⑤ 中国	67	㉓ 東ティモール	3
⑥ ケニア	27	⑥ インド	23	㉔ ソロモン諸島	10
⑦ レバノン	1	⑦ インドネシア	130	㉕ サモア	4
⑧ マラウイ	24	⑧ イラク	5	㉖ 台湾	10
⑨ モーリタニア	2	⑨ ヨルダン	6	㉗ パラオ	5
⑩ モロッコ	11	⑩ 韓国	40	◆南米・中米・北米地区	
⑪ モザンビーク	1	⑪ キルギス	11	① アルゼンチン	16
⑫ ナミビア	1	⑫ ラオス	32	② ボリビア	4
⑬ ルーマニア	8	⑬ マレーシア	116	③ ブラジル	16
⑭ セネガル	1	⑭ モンゴル	32	④ キューバ	24
⑮ 南アフリカ	6	⑮ ミャンマー	53	⑤ ドミニカ	5
⑯ タンザニア	16	⑯ ネパール	143	⑥ エルサルバドル	57
⑰ チュニジア	6	⑰ パキスタン	50	⑦ ホンジュラス	12
⑱ ウガンダ	3	⑱ パプアニューギニア	31	⑧ ジャマイカ	9
㉒ ザンビア	25	⑲ フィリピン	249	⑨ ニカラグア	31
㉓ ジンバブエ	3	㉒ ロシア	10	⑩ ペルー	14
㉔ ナイジェリア	21	㉓ サイパン	2	⑪ セントルシア	1
㉕ エチオピア	5	㉔ シンガポール	25	⑫ ウルグアイ	14
㉖ ルワンダ	4	㉕ スリランカ	80	⑬ パラグアイ	8
㉗ カメルーン	5	㉖ タジキスタン	3	⑭ コスタリカ	8
㉘ ガボン	6	㉗ タイ	445	⑮ チリ	4
㉙ マダガスカル	10	㉘ トルコ	3	⑯ カナダ	2
㉚ ウクライナ	70	㉙ ウズベキスタン	46	⑰ メキシコ	2
◆日本(国内リサイクル)	171			⑱ エクアドル	32

2023年11月15日現在（網掛け部分は2023年6月16日以降の増加分）

※2020年8月から集計頻度が変更になりました。

これに伴いホームページの台数情報と若干異なる場合がございます。

今年も  
開催しました!

# ハロウィーン・パーティー



**飛んでけ! 車いすの会**

日時: 2023年 10月29日(日) 13:00~16:00  
 開催地: 市民活動プラザ星園2階 活動室  
 アクセス: 札幌市中央区南8条西2丁目5-24  
 札幌市中央公園駅1番口から徒歩5分、  
 東豊線豊水すすきの駅6番口から徒歩5分  
 電話番号: 011-215-8824  
 メールアドレス: tondeke@bz01.plala.or.jp  
 Instagram: @tondeke  
 Facebook: GoFlyWheelchairs

参加費無料!!  
 子供から大人まで  
 楽しめる企画盛りだくさん  
 上靴を持ってきてね~  
 みんなの衣装ワクワクして  
 待ってるよ~!!

定員 50名

トリック・オア・トリート!  
 コスプレコンテスト  
 ハロウィーンゲーム  
 ダンスコンテスト (みんなでスリラーをおどろうか?)  
 ジャック・オ・ランタンを作ろう!!

衣装を用意できなかったら、仮装グッズを貸し出します!!



今年で2回目となる「飛んでけ」のハロウィーン・パーティーを10月29日、星園の活動室(体育館)で開催しました。

真っ暗な部屋を、怖いモンスターやお化け、魔女、ハロウィーンの風船などで飾りつけ、BGMは50年代と60年代のハロウィーンポップスをメインに。アクティビティは典型的なアメリカンスタイルで、トリック・オア・トリート、ジャック・オ・ランタンづくり、仮装コンテスト、ダンスコンテストなどを催しました。

パーティーのハイライトはダンスで、星園内で主催されているダンススタジオの生徒さんと北海道チャンピオンカップルによる社交ダンスは圧巻でした。

参加者はインターンを含むいつもの「飛んでけ」メンバーのほか、アメリカ、ウクライナ、韓国、ベトナムの方々が出て、年齢差は約70歳! 「飛んでけ」らしい、とても興味深い多様なグループでした。ほとんどのゲストはハロウィーンの仮装やダンスパーティーに参加するのは初めてだったようで、たくさんの思い出ができたようでした。

パーティーが成功したのは、ボランティアの皆さんが買物、ポスターや招待状づくり、バルーンアーチや紙粘土でのモンスターの造作、コスチュームや室内装飾、お菓子の準備、パーティー当日の設営や後片付け、フィードバック・アンケートの実施などなど、たくさんの作業を長時間に渡って手伝ってくれたおかげです。そしてパーティーでは、司会者、通訳、コスチューム



アシスタント、受付係、そしてトリック・オア・トリートのモンスターたちも、コミュニケーションのお手伝いやパーティーのアクティビティの案内に奔走してくれました。特にハロウィーン・パーティーの専門家である私の友人には感謝しています。

(理事 シンシア・エドワーズ 原文英語)



## NPO インターン生のプロジェクトマネジメント経験 【ハロウィーン・パーティー編】

私にとってハロウィンの本格的なゲーム、そしてコスプレは初めてで、特にかぼちゃをくり抜いてジャック・オ・ランタンを作る機会は滅多にないことでした。参加者の皆さんもハロウィンイベントのゲームに関心を持っていたように見えました。シンディの本場アメリカ式ハロウィンは、やっぱりリアリティが高かったです。

コスチュームコンテストやダンスコンテストも想像以上のクオリティで盛り上がりました。私の2人の先輩による社交ダンスは参加者を魅了するパフォーマンスで、特別ゲストというボランティアをお願いできて大成功した感覚がありました。プロジェクトマネジメントの実践ができたことは、とても良い経験でした。描いていた理想と実際に人を動かすアクションに違いがあり、先を考えて実行していく必要性を実感しました。当日の時間管理が最も難しかったのですが、計画を立てたり、必要物品の買い出しや視察、装飾品を作ることは刺激的で、かつ成長できる鍵になると実感しています。

今後は英語力の向上やプロジェクトの時間管理、当日までの準備を十分にすすめていくことなどを課題にしたいと、今回のイベントを通して考えました。

(NPO インターン生 滝沢 美海)



# 車いす 届けました！／届きました！

## モンゴル

10月の初め、旅行者の方の手によってモンゴルに住むノミンさん(17)に車いすが届けられました。

ノミンさんは全身の筋力が弱くチューブをつないで栄養を摂っており、今までは故障した車いすを修理しながら使っていました。「飛んでけ」からお送りした車いすが無事に届けられ梱包を解いている間、ノミンさんはとてもうれしそうな表情を浮かべていたとのことでした。車いすは、学校に行ったりお出かけしたりするのに使うそうです。

実は今回届けた車いす、拓北養護学校さんに依頼して急遽用意していただいたものでした。ノミンさんに必要な車いすはバギー型で、ティルト式(シートが座面ごと傾く形式)の特殊なタイプ。「飛んでけ」には在庫がなく、急いで同じタイプの車いすを所有されている方に連絡して用意していただきました。拓北養護学校さんには本当にお世話になりました。

「飛んでけ」ではコーディネーターが、使用者に体のサイズや生活状況を聞いて車いすを選んでいきます。今回のノミンさんの場合は、自分では体が支えられないなど重い障がいがあったことから選定が難しかったです。そこで車いす整備班の理学療法士でもある松岡さんにお願ひし、コーディネーター研修を兼ねて、3台の車いすからノミンさんに合うものを選択しました。

ノミンさんの車いすは、さまざまな皆さんからの協力を経て届けられた1台でした。

## 多くの思いが詰まった一台

武田 信悟さん(コーディネーター)

ハノイ市街地の細い路地を進んでいくとドライバーが車を止めました。目当ての家を探していると、家族が外に出てきて手を振ってくれました。丁寧にパッキングされたままの車いすを渡すと、ご家族から歓喜の声上がり、すぐに開封されて Thuy Anh さんが乗り移りました。こんなに嬉しさに満ちた人の表情を見ることは随分久しぶりに感じられました。

日本から届けた車いすは、それが大切にリフォームされたものであることが素人でも分かりました。添付されたクッションひとつに至るまで、現地の方と相談して調整されたことをお聞きしており、このボランティア活動に携わる方々の想いを改めて感じました。

Thuy Anh さんから託された御礼の手紙は、車いすを届けるという最後の行程を担っただけの私ではなく、この「飛んでけ!車いす」のボランティア活動をされている関係者の皆様に、そのままお渡ししたいと思いました。

暖かな心の交流の場に同席させていただき、この場を借りて深く感謝申し上げます。

## ベトナム

## ご家族から歓喜の声

八谷 一平さん(札幌市)



### 第3便の最終レシピエント報告

FUのカーリーナさんより、ウクライナに向けて第3便の最終レシピエント報告が届きました。ウクライナ東部ルハンシク州リシチャンシク市の国内避難民の方々から、たくさんの感謝の言葉をいただくことができました。その中には車いすを使用している様子の写真が添えられているものもあります。

「親愛なる篤志家の皆様。遠く離れていても私たちの問題に無関心ではない日本の皆さまの協力のおかげで、私たちネチポレンコー家は切望していた援助を受けることができました。

彼は車いすがないため1年間部屋から出ることができませんでした。各家族のニーズに耳を傾け、私たちの要望に迅速に伝えてくださる素晴らしい善行です。私たちは見捨てられていないと感じています。このことが私たちに前進するインスピレーションを与え、勝利は私たちのものになると信じています。主があなた方とご家族を守り、あなた方が成功し、健康でありますように。」



「トポリーナ・リュドミラ・ドミトリエヴナのために車いすをありがとうございました。」



「私の夫、アルテム・ポソフは国家緊急部隊の軍曹で、任務中に負傷して右足を切断し、かかとの多断裂骨折を負いました。私たちは、この車いすが彼の移動の助けになることをとても感謝しています。この車いすは快適で操作性に優れています。お気遣いにご協力に感謝します！」



「こんにちは。この度は大変お世話になりました。今では孫と散歩に行ったり、とても長い距離を歩いたりできるようになりました。」



## Ukraine Information

「車いすのおかげで、娘のシェストパロヴァ・エフゲニアは外に出る機会を得ました。あなたの助け、大きな心、人々のためにしてくれる善意、そしてあなたの仕事に対して感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

### 在札ウクライナの方たちが ～車いす清掃と メッセージ作成～



9月16日(土)、在札ウクライナの皆さんと8名の支援者が「飛んでけ」を訪れ、ウクライナに届ける予定の車いす1台1台を、心を込めて清掃してくれました。

まずは高圧洗浄機を使って汚れを落とし、その後は手作業で丁寧に磨きあげました。作業時間が1台に2時間かかる物もありましたが「きれいにして故国に届けたい」という思いが伝わってきました。

清掃の後は、車いすのポケットに入れて届けるメッセージをウクライナ語で執筆しました。

メッセージは7月にも航空便で4カ所に送り、病院や施設のボードに貼りだしてもらいました。すると療養中の皆さんが大変喜んでくれ、現地テルノポリ州の子ども病院のfacebookに次のように掲載されました。

「先日、遠く離れた日本から素敵な写真と応援の言葉を添えて手紙が届きました。(日本で応援しています)(ウクライナに平和を)(ウクライナに平和が訪れますように)(心はいつもウクライナと共に)(勝利は私たちのもの)などと書かれていました。

我が国にとってこのような困難な時に、あなたの支援と心配を感じて非常にうれしく思います。ありがとう!

「飛んでけ」では、車いすを「気持ちを込めて」届けています。今回は、このように、メッセージが1台、1台に入れられるので、「気持ち」「思い」が伝わるだろうと考えています。ウクライナ向けの車いすが乗った船は、12月中旬に東京から出発予定です。

## 「いつの日か母国にいらしてください」 ベロニカさんがウクライナ文化を紹介

札幌在住のウクライナ人女性、ベロニカ・クラコワさんをお招きし、「ウクライナは今」と題して国の現状を報告する催しを 8/26、市民活動プラザ星園にて開催しました。

ベロニカさんはウクライナ・ザボリージャのご出身。国立ザボリージャ大学でウクライナ言語や文学を専攻し、2020年に語学留学で来日。1年前から札幌で生活しています。これまで同様のウクライナの現状をお伝えする報告会を開催してきましたが、今回は戦火の様子ではなく、ベロニカさんが「今回の戦争が終わった後、ぜひ美しい母国にいらしてください」という願いを込め、ウクライナがどのような国なのか、その魅力と共に紹介してくれました。

歴史、大まかに4つのエリアがあり、それぞれに特徴ある風景であること、そして食文化など、多くの日本人にはあまり知られていないであろうウクライナの素顔について紹介。最後は質問コーナーの時間も設け、参加した皆さんからのさまざまな質問にベロニカさんが答えました。



## ウクライナ支援と「飛んでけ」が NHK テレビで放映されました

在札ウクライナの方々的車いすを清掃をし、母国に贈るメッセージカードを書いている様子、そして「飛んでけ」の活動について NHK から取材を受け、10月には道内ニュース、11月には全国放送（おはよう日本）のなかで紹介されました。下記の URL から約1年間見ることができます。

[こちらから](https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20231011/7000061585.html) <https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20231011/7000061585.html>

視聴者からは次のような声が寄せられたそうです。

これらの活動を知ってもらいたいの でインスタにも流 しました（大学生）	ウクライナでさま ざまな活動してい る関係者にもシェ アして見てもらい ます（50代）	Oh how cool! Looks like you help a lot of people （カナダ 20代）	That's a very well-crafted and touching program. （アメリカ出身 50代）	
アンテナを張っ て一番必要な所 に届けています ね（40代）	車いす1台1台に 手書きのメッセー ジが添えられてい ることに感動しま した。（50代）	ウクライナの女性 の話が印象的。戦 闘が終わり帰国で きますように （50代）	平和に貢献を している団体 でほこらしい （40代）	飛んでけの存 在意義がしっ かり描けてい る（60代）

放送をきっかけにウクライナへの支援、飛んでけの活動へのご理解が広がるといいですね。



## 日立グループ「なんの木フェスタ」にて車いす体験会実施

10/21(土)に開催された「なんの木フェスタ」は日立グループ各社の従業員と、そのご家族の交流を目的としたスポーツ大会です。コロナ禍により中断され、4年ぶりに開催したこのイベントに「飛んでけ」の整備班とコーディネーターの9名が向かい、「車いす体験会」を実施しました。

会場の「つどむ」ではスポーツ競技の開催のほかバザーや出店、体力測定のブースが設けられ、その一角で実施した「車いす体験会」では車いす4台(1台は子ども用)を用意。長さ約20m×幅1mの細長いスペースに車道から歩道への縁石を想定した障害物、そして傾斜1か所、高さ2cm・4cm段差2か所も設け、参加者の皆さんは車いすの乗車と介護者の2名1組になってもらい、



- ①車いすの取り扱い方    ②乗降の仕方    ③傾斜個所の走行の仕方    ④段差走行の仕方

などを体験。「車いすに乗ってみて、ちょっとした段差が大きな障害になることがわかった」「車いすで介護する際の注意事項が良く分かった」などの感想をいただきました。

## NPOインターン生さんがやってきた!



【名前】 滝沢美海 (9月10日生まれ Z女座のA型)

【趣味】 札幌の街を歩くこと

【好物】 カレー、エスニック料理、抹茶スイーツ

### ～ NPO・NGOに関心を持ったきっかけ～

国内外の震災復興や紛争地域について授業で習ったときからです。被害を受けた方々の支援や心のケアを自主的に行う人たちがいることに心奪われました。現在、大学

1年生で、2年次からプロジェクトマネジメント専修志望しています。国内か海外か未定ですが、将来は生活に困っている海外の人たちと日本とを繋ぐような仕事に就きたいと考えています。

誰かのためなら、普段より「頑張る・率先して動きたい・その人をよろこばせたい」が私の性格です。まずは自分にできることとして、語学を学んだり、ボランティア活動によく参加したりして実践力を高めていきたいと思います。飛んでけ!車いすの会では、将来の夢に最も近い状態を再現できます。

これからコーディネーターについても学び、更に経験を積みたいと思っています。

# 「飛んでけ」サポーターのご案内

## ●会員になる

- ・あなたの会費で世界中の障がい児・者に車いすが届きます。
- ・年3回会報を送ります。
- ・メールマガジンでイベント案内などが入手できます。
- ・車いすを無料で借りることができます。

■正会員	一般	5000円/年
	学生	1000円/年
■賛助会員	一般	2000円/年
	団体	5000円/年

## ●車いすを提供する

「家に使っていない車いすがある」「職場や知り合いが車いすを処分する」等の情報があればご連絡ください。無料で引き取ります。

## ●車いすを届ける

途上国に旅行する方で、車いすを直接届ける体験をしてみたい方はご協力ください。

## ●物品で支援する

リングブル・書き損じはがき・未使用切手・海外土産品・商品券(QUOカード等)・中古DVD/CDも集めています。

## ●寄付をする・会費を振り込む

【郵便振替口座】記号番号 02780-6-2973 【ゆうちょ銀行口座間振込】記号 19070 番号 5406461  
 【北洋銀行】札幌駅南口支店 普通 4117153 【ウェブ決済システム・Syncable】 ※詳細は事務局へ

## 掲 示 板

### イ ベ ント

- ▼ 12月26日(火)13:00～ カレンダー伸ばし、事務所大掃除
- ▼ 12月27日(水)～1月8日(月) 事務局年末・年始休暇
- ▼ この間リサイクルカレンダー市用のカレンダーを持参する方は、事務局入り口外側のボックスに入れてください。
- ▼ 1月5日(金)10:30～17:30 リサイクルカレンダー市 札幌駅前地下広場(チ・カ・ホ) 北大通交差点広場(西)



例年と場所が変更になりました。こちら ←

### お 知 ら せ

- ▼ 車いすの学校 受講生募集中 毎月第2・第4土曜日 13:30～ およそ5回の受講で修了証を授与いたします。
- ▼ ボランティア募集中  
 コーディネーター(英語でメールのやりとりができる方)、  
 車いす整備ボラ、会報編集ボラ、事務作業ボラ

※ 問い合わせは事務局(照井・小林)までメールまたは電話・FAXで。  
 ※ 事務局は基本的に火曜日と土曜日の午後のみ開設

## ●「とべとべ」ウェブ版公開中

会の活動を広く発信するため『とべとべ』89号をホームページで公開(期間限定)し、90号以降も継続する予定です。会内部の保存用として創刊号からの全号も電子化しています。問い合わせは事務局まで。

<https://tondeke.org/tobetobe88/>



## ●問い合わせ

「飛んでけ！車いす」の会  
 事務局  
 電話/FAX 011-215-8824  
 メール: tondeke@bz01.plala.or.jp

